

製品名: ADAMTS-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06595**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	105kDa

抗原情報

遺伝子名	ADAMTS1
別名	ADAMTS1; KIAA1346; METH1; A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 1; ADAM-TS 1; ADAM-TS1; ADAMTS-1; METH-1
遺伝子 ID	9510.0
SwissProt ID	Q9UHI8
免疫原	ADAMTS-1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 160-240

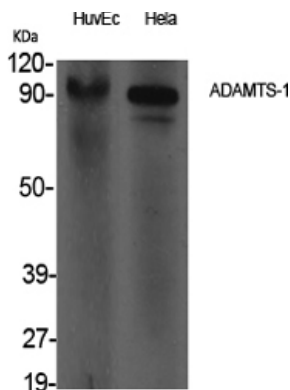
背景

この遺伝子は、ADAMTS（トロンボスポンジンモチーフを有するディスインテグリンおよびメタロプロテアーゼ）タンパク質ファミ

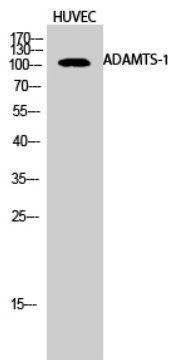
リーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、プロペプチド領域、メタロプロテアーゼドメイン、ディスインテグリン様ドメイン、およびトロンボスポンジン 1 型 (TS) モチーフなど、複数の異なるタンパク質モジュールを共有しています。このファミリーの各メンバーは C 末端 TS モチーフの数が異なり、中には独自の C 末端ドメインを持つものもあります。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、2つのディスインテグリンループと3つの C 末端 TS モチーフを含み、抗血管新生活性を有します。この遺伝子の発現は、様々な炎症プロセスや癌性悪液質の発症に関連している可能性があります。この遺伝子は、正常な成長、生殖能力、そして臓器の形態と機能に必要であると考えられます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: コンドロイチン硫酸結合ドメイン内の 1938-Glu-|-Leu-1939 部位でアグリカンを切断する。補因子: サブユニットあたり1つの亜鉛イオンを結合する。ドメイン: システインスイッチモチーフに存在する保存されたシステインが触媒亜鉛イオンに結合し、酵素を阻害する。活性化ペプチドの放出により亜鉛イオンからシステインが解離することで、酵素が活性化する。ドメイン: スペーサードメインと TSP タイプ 1 ドメインは、細胞外マトリックスとの緊密な相互作用に重要である。機能: 軟骨プロテオグリカンであるアグリカンを切断し、その代謝に関与している可能性がある (類似性に基づく)。血管新生阻害活性を有する。活性メタロプロテアーゼは、様々な炎症プロセスや癌性悪液質の発症に関連する可能性がある。卵胞破裂に重要な役割を果たす可能性がある。PTM:前駆体はフォーリンエンドペプチダーゼによって切断される。類似性:ディスインテグリンドメインを1つ含む。類似性:ペプチダーゼ M12B ドメインを1つ含む。類似性:TSP タイプ 1 ドメインを3つ含む。

研究分野

画像データ



ADAMTS-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



ADAMTS-1 ポリクローナル抗体を用いた HUVEC 細胞のウェスタンブロット解析

